

【様式】

令和5年度 学校マネジメントシート

学校名 (三重県立松阪高等学校全日制)

1 目指す姿

| | | |
|------------|---------------|---|
| (1) 目指す学校像 | | <p>時代の変化に対応し社会に貢献できる人材を育み、生徒・保護者・地域から信頼される進学校を目指します。</p> <p>< 自主自律 ></p> <p>校訓である「自主自律」の精神を持ち、自ら考え、自ら行動できる人を育てます。</p> <p>< 知・徳・体 ></p> <p>校章に象徴される「知・徳・体」の調和のとれた全人的な発達を図り、地域社会の中心的な担い手となる人を育てます。</p> <p>< 高い志 ></p> <p>心豊かな人間性に立脚した「志」を持ち、高い目標を掲げて意欲的に挑戦する人を育てます。</p> |
| (2) | 育みたい 児童生徒像 | <ul style="list-style-type: none"> ・知的な好奇心や興味を持ち、自ら考え活動する生徒。 ・命と人権を尊重し、思いやりや規範意識を持つ生徒。 ・国際社会で通用する能力やグローバルな視点を持ちつつ、地域社会の活性化や発展に貢献する生徒。 |
| | ありたい 教職員像 | <ul style="list-style-type: none"> ・大学受験のための進学指導だけでなく、卒業後の社会を意識させたキャリア教育を行う教職員。 ・創意工夫を凝らした業務の効率化などによる働きやすい職場環境で、いきいきと働く教職員。 |

2 現状認識

| | | |
|-----------------------------|---|---|
| (1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待 | <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力にあったわかりやすい授業。 ・進路指導に関する知識や見識が高い先生が多い。 ・進路に関する適切に必要な情報の提供。 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路に関する適切に必要な情報の提供。 ・子どもの学力にあったわかりやすい授業。 ・学校からの情報提供など家庭との連携を深めること。 <p>【中学生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学したら充実した高校生活を送ることができる。 ・松阪高校生の生活や活躍(進学実績や部活動実績)の様子がわかる。 | |
| (2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待 | 連携する相手からの要望・期待 | 連携する相手への要望・期待 |
| | <p>【PTA・PTA 役員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信頼して子どもを預けられる進学校 ・学校の様子を知りたい <p>【地域住民】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校からの様々な情報提供 ・地域との交流の機会 <p>【大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より良い生徒の獲得 <p>【卒業生 (南窓会)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母校の活躍 ・学校の様子や変化を知りたい | <p>【PTA・PTA 役員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員との協力 ・家庭での適切な教育力 <p>【地域住民】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校からの様々な情報提供 ・地域との交流の機会 <p>【大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験学習などの受け入れ、出前講座の開催 <p>【卒業生 (南窓会)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生や社会で活躍する方からの生徒への助言 ・生徒の部活動等へ支援 |

| | | |
|-------------------------|--------------|--|
| (3) 前年度の学校関係者評価等 | | <p>①地域からの松阪高校に対する期待は大きい。教職員が親身になって生徒とコミュニケーションを取っており、松阪高校の良さであると思う。</p> <p>②1人1台端末の購入など、保護者の経済的負担が増加している。今後、負担軽減についても引き続き検討が必要である。</p> |
| 4) 現状と課題 | 教育活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・65分授業の中で講義や演習をバランスよく配置し、生徒にとって充実した授業を展開するように努めている。 ・ほとんどの生徒が四年制大学への進学を志望している。 ・1人1台端末を用いた学習活動が効果的に機能するよう、ICT活用について、各教科で教材研究を重ね、授業に生かしている。 ・これまで中止や規模が縮小となってきた学校行事や探究活動について、地域や保護者の理解も得ながら、取組を進めていく必要がある。 |
| | 学校運営等 | <ul style="list-style-type: none"> ・全国や地元で活躍する多くの優秀な人材を輩出した歴史と伝統がある。 ・社会や保護者の学校への要求の増加に伴い、学校の役割の肥大化や課題の多様化・複雑化が進行し、教員の業務量が増大し、時間外労働が日常的に行われている。 |

3 中長期的な重点目標

| | |
|-------------|--|
| 教育活動 | <p>【SSH（スーパーサイエンスハイスクール）の推進】 SSHを通して、国際舞台で通用する課題探究能力を育成するよう取り組みます。</p> <p>【道徳教育】 生徒一人ひとりが命と人権を尊重し、思いやりや規範意識を持つ人間に成長できるよう指導の充実を図ります。</p> <p>【キャリア教育】 大学受験のための進学指導に注力するとともに、卒業後の社会を意識させて将来の職業や生き方について自覚を促すためのキャリア教育を行います。</p> |
| | 学校運営等 |

| | | | |
|------------------------------------|--|--|--|
| <p>【キャリア教育】</p> <p>【保健管理・保健教育】</p> | <p>回／年以上) (成果指標:教職員の人権に対する意識や意欲、人権に関する知識が向上している) (3)生徒のこれまでの人権活動の成果を継承し、さらに人権意識を高めるため、地域や小学校・中学校・県立学校での活動等との連携や交流を図ります。 (活動指標:検討回数は、連携・交流の方法や状況に応じて随時) (成果指標:地域や小中・県立学校の人権活動との交流の機会1回／年以上、生徒の人権に対する意識や意欲、人権に関する知識が向上している)</p> <p>【図書部】</p> <p>生徒の進路実現や職業選択の参考になる資料を重点的に収集、提供します。またそれらの資料の利用促進に努めます。 (活動指標:進路関連図書の特集コーナー更新 1回以上／年) (成果指標:進路関連図書が閲覧や貸出でよく利用されている。)</p> <p>【進路指導部】</p> <p>進路指導部及び学年団が連携して進路検討会・研修会を実施し、生徒に対する指導内容の充実を図ります。 (活動指標:検討会・研修会の実施回数を各学年4回全体1回以上実施) (成果指標:進路3担(推薦)会議5回以上、2年学力・進路検討会1回以上、1年学力・進路検討会1回以上)</p> <p>【理数科】</p> <p>卒業後の社会を意識させて将来の職業や生き方について自覚を促すため大学の研究室や企業等を訪問し、高度な学問や研究を体験する機会を設けます。 (活動指標:大学での研修、大学研究室の訪問、卒業生による大学紹介などの機会を年2回以上設ける) (成果指標:理数科1、2年生の大学等訪問回数を1回／年以上)</p> <p>【保健部】</p> <p>心身の健康の保持・増進を図るとともに、主体的に健康な生活を送ることができる生徒の育成を目指し、健康教育の充実を行います。 (活動指標:1年生対象「性に関する教育」の実施、ほけんだより年10回以上発行) 救急体制の充実を図るとともに、ケガ等の予防教育を行います。感染症予防の取組を行います。(健康観察の実施、欠席者の早</p> | | |
|------------------------------------|--|--|--|

| | | | |
|-----------------------------|---|--|--|
| <p>【教育相談】</p> <p>【環境美化】</p> | <p>期把握、手指消毒液の設置、保健指導など)</p> <p>【保健部】</p> <p>すべての教育活動を通して、生徒の悩みや不安の解消に向けた支援や対応を行います。</p> <p>(活動指標: スクールカウンセラーによる教育相談を年34回実施、教育相談だより年5回発行)</p> <p>【保健部】</p> <p>校舎内外の清掃美化の徹底に努めます。</p> <p>(活動指標: 大掃除年3回実施)</p> <p>(成果指標: 日々の清掃時のゴミ分別の徹底)</p> | | |
| 改善課題 | | | |
| | | | |

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

| 項目 | 取組内容・指標 | 結果 | 備考 |
|-----------------|--|----|----|
| <p>【地域との交流】</p> | <p>【生徒会】</p> <p>(1) ボランティア活動等への参加を通して、生徒と地域の交流を図ります。</p> <p>(活動指標: 生徒に参加を働きかける件数を4件/年以上)</p> <p>(成果指標: 参加生徒数を30人/年以上)</p> <p>(2) 本校の文化祭に近隣の小学校児童を招待し交流を進めます。</p> <p>(活動指標: 小学校への参加要請件数と参加の可否)</p> <p>(成果指標: 少なくとも1校の児童を招待する)</p> | | |
| <p>【情報提供】</p> | <p>【総務部】</p> <p>(1) 本校の保護者を対象に、年2回教育内容や子どもの学習状況について理解を深めていただくため、公開授業を行います。</p> <p>(2) 中学3年生とその保護者を対象に公開授業を行い、在校生の学習状況や学校生活を見学する機会を提供し、中学生やその保護者が本校を身近なものとして捉えることができるようにします。</p> <p>また、松阪高校の取り組みと魅力を紹介し、本校に対する関心を持たせ、本校への入学意欲を高めるための機会とするため、『高校生活入門講座』を実施します。</p> <p>(3) 生徒の校内外での活動や地域との交流活動の状況をホーム</p> | | |

ページなどで広報するとともに、報道機関への資料提供も積極的に行い、地域とのコミュニケーションを図り、信頼の構築を目指します。(活動指標:月1回以上のホームページの更新と報道機関への情報提供)

【授業改善】 【教務部】

(1)実施された「大学入試共通テスト」の分析を進め、各定期考査等において実際に作問、検討を行います。

(活動指標:各定期考査等において、大学入試共通テストに対応するための思考力養成を目的とした問題を出題)

(2)令和4年度入学生より実施されている観点別評価を円滑に実施するとともに、基準の検討及び改善を行ないます。

(活動指標:1・2年生の初回授業における、各教科の観点別評価を踏まえた成績に関するオリエンテーションの実施)

(成果指標:次年度の観点別評価における具体的基準の策定)

(3)生徒の授業理解度、満足度を向上させるために、各教科で公開授業を実施し、授業研究や協議を通して、授業力の向上を図ります。

(活動指標:指定教科による公開授業を実施)

(活動指標:校内公開授業週間の実施)

(4)「生徒による授業アンケート」を実施し、教員個々の課題を明確にします。また、その課題を教科や学校全体で共有し、その後の授業改善に活用していきます。

(活動指標:全教員・全授業に対して1回/年実施)

(成果指標:授業アンケートの「総合的にみて、松阪高校の授業に満足している」の項目について、生徒の満足度80%以上)

(5)授業やHRにおけるICT機器の積極的な活用を進めていきます。

(活動指標:ICT 機器の利用に関する校内研修の実施を1回以上/年)

(活動指標:各教科におけるICT活用指導計画表の策定、及びそれに基づくICT活用実践)

【進路指導部】

1、2年生において、全員受験の模試の結果分析を進路指導部主導で行い、本校生徒の課題点を明確にし、授業改善に活用します。

(活動指標:1・2年生 年3回以上実施)

【組織全体】

(活動指標)

(1)時間外労働時間を0.3時間/月削減し28時間以下とします。

| | | | |
|--------------|--|--|--|
| 【働きやすい環境づくり】 | <p>【 28.0 時間／月】(昨年度 28.3 時間／月)</p> <p>(2) 休暇取得日数を 1 日／年増加します。</p> <p>【平均 21.4 日／年】(昨年度 20.4 日／年)</p> <p>(3) 年 360 時間を超える時間外労働者を出しません。</p> <p>(4) 月 45 時間を超える時間外労働者を出しません。</p> <p>(成果指標)</p> <p>(1) 定時退校日を月に 1 日設定し、設定した日の定時に退校できる職員の割合 90%を目指します。</p> <p>(2) 部活動休養日を週に 1 日設定し、予定通り休養日を設定した部活動の割合 100%を目指します。</p> <p>(3) 60 分以内に終了する職員会議の割合を 90%以上にします。</p> | | |
| 改善課題 | | | |
| | | | |

5 学校関係者評価

| | |
|----------------------------|--|
| 明らかになった改善課題と次への取組方向 | |
|----------------------------|--|

6 次年度に向けた改善策

| | |
|---------------------|--|
| 教育活動についての改善策 | |
| 学校運営についての改善策 | |